

# 静岡県月例経済報告

(平成30年2月号)

……平成29年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 502

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	13
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成29年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概 況

平成29年12月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、持ち直しつつある。

## 需 要 面

### ◎個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店販売額(12月)は、スーパーが8か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも、6か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(12月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストア、ホームセンターがいずれも2か月連続、ドラッグストアが10か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、軽自動車10か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が3か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも3か月連続で前年実績を下回った。

### ◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(12月)は、持家が6か月連続、貸家が2か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも6か月連続で前年実績を下回った。

### ◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(12月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

### ◎設備投資は、増加の動きがみられる。

日銀短観(平成29年12月15日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎輸出は、増加している。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（12月）は、エアコンが2か月連続、自動車の部分品が8か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が2か月ぶり、自動車が14か月連続、二輪自動車類が12か月連続、科学光学機器が7か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも14か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（12月）は、自動車の部分品などが前年実績を下回ったものの、魚介類やパルプなどで前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,100億円の輸出超過となった。

**生産面**

◎生産は、持ち直しつつある。

鉱工業生産指数（11月）は、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、電気機械が7か月ぶり、食料品・たばこが3か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械が12か月連続、化学が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品が6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総合でも11か月連続で前年水準を上回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（11月）は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

**雇用面**

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（12月）は1.60倍で、前月を0.01ポイント上回った。また、47か月連続で1倍を上回った。なお、10か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（12月）は、53か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（11月）は、4か月連続で前年実績を上回った。

**その他**

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（12月）は、前年同月比1.8%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（12月）は、前年同月比4.0%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った。

企業倒産（1月）は、件数は18件（前年同月比12.5%増）、負債総額は、23億6,900万円（同40.4%増）と、いずれも前年実績を上回った。

## <<県の取組>> 「地域経済牽引事業計画策定説明会」の開催

### 1 概要

昨年7月末に施行された「地域未来投資促進法」は、地域の特性を生かし、高い付加価値を創出する「地域経済牽引事業」を行う民間事業者を創出、支援していくものです。

本説明会では、地域未来投資促進法や関連する基本計画の概要、地域経済牽引事業計画の記載方法に加え、各種支援策(設備投資への減税措置、国の補助事業に関する優遇、信用保証枠の拡大等)について、詳しく説明します。

### 2 開催日及び会場 いずれも午後2時から午後4時(受付開始 午後1時30分)

地域	中部	東部	西部
開催日	H30.2.28(水)	H30.3.5(月)	H30.3.12(月)
会場	葵タワー (静岡市葵区紺屋町)	沼津商工会議所 (沼津市米山町)	アクトシティ浜松 (浜松市中区板屋町)

(各会場定員100人。定員になり次第、下記webサイトでの受付を終了します。)

### 3 内容

- ・地域未来投資促進法の概要、各種支援策
- ・基本計画の概要
- ・地域経済牽引事業計画の記載方法
- ・地域経済牽引事業に取り組む企業による事例紹介

### 4 対象者

民間事業者、金融機関、支援機関

### 5 申込方法

下記のwebサイトから、お申し込みください。

<https://www.deloitte.com/jp/semi4266>

※御登録いただいた情報は、本説明会に限り使用します。

※委託先「有限責任監査法人トーマツ」のシステムからの申し込みになります。

### 6 その他

主催：静岡県 共催：関東経済産業局

【参考】これまでに下記11社の地域経済牽引事業計画を承認

平成29年11月2日承認分

杉本製茶株式会社、碌々産業株式会社、大建産業株式会社

平成29年12月22日承認分

株式会社ホテルニューアカオ、株式会社エステック、株式会社荒畑園

平成30年2月9日承認分

国本工業株式会社、株式会社タウンズ

平成30年2月23日承認分

浜松ホトニクス(株)、テイボー(株)、(株)おさだ製茶

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

12月 = 42,544百万円

\*前年同月比： 0.1%増

(県内3百貨店、133スーパー合計)

##### <概況>

12月の大型小売店販売額は42,544百万円で、前年同月比 0.1%増となり、6か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー(前年同月比 0.1%減)が8か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店(同 0.8%増)が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも6か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、飲食物品(前年同月比 0.1%減)が6か月連続、家庭用品(同 5.1%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品(同 0.7%増)が3か月ぶりに前年実績を上回った。身の回り品は前年実績と同水準だった。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.3%増と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

##### <最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	34,010	33,274	35,877	33,985	31,500	33,613	34,063	42,544
前年同月比(%)	▲0.3	0.1	▲0.4	▲1.4	▲0.8	▲2.3	▲1.5	0.1
うち百貨店(%)	4.0	2.5	▲1.7	▲0.6	6.0	▲4.4	0.9	0.8
スーパー(%)	▲1.3	▲0.5	▲0.1	▲1.6	▲2.3	▲1.8	▲2.2	▲0.1
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.6	0.2	▲0.2	0.6	1.9	▲0.7	1.4	1.1
うち百貨店(%)	0.1	1.5	▲1.3	2.1	4.2	▲0.5	3.6	0.8
スーパー(%)	▲0.9	▲0.4	0.4	0.1	0.8	▲0.9	0.2	1.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.2	▲0.2	0.5	0.2	0.5	▲1.1	▲0.6	1.3

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

##### <商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲1.8	▲3.3	▲1.9	▲5.3	1.7	▲3.8	▲4.6	0.7
うち紳士服・洋品	▲4.7	▲4.6	▲1.4	▲8.0	3.8	▲1.6	▲4.6	2.0
婦人・子供服・洋品	▲0.7	▲2.2	▲2.7	▲3.6	1.6	▲4.4	▲4.0	0.6
身の回り品	0.7	0.3	▲0.2	▲3.6	6.2	▲3.3	▲3.5	0.0
飲食物品	▲0.1	0.3	▲0.7	▲1.3	▲2.5	▲2.1	▲1.6	▲0.1
家庭用品	▲6.1	▲2.6	▲1.9	▲3.3	1.4	▲4.0	▲4.6	▲5.1
うち家庭用電気機械器具	▲21.4	▲10.5	▲2.5	▲12.1	▲5.4	▲10.4	▲6.2	▲14.7

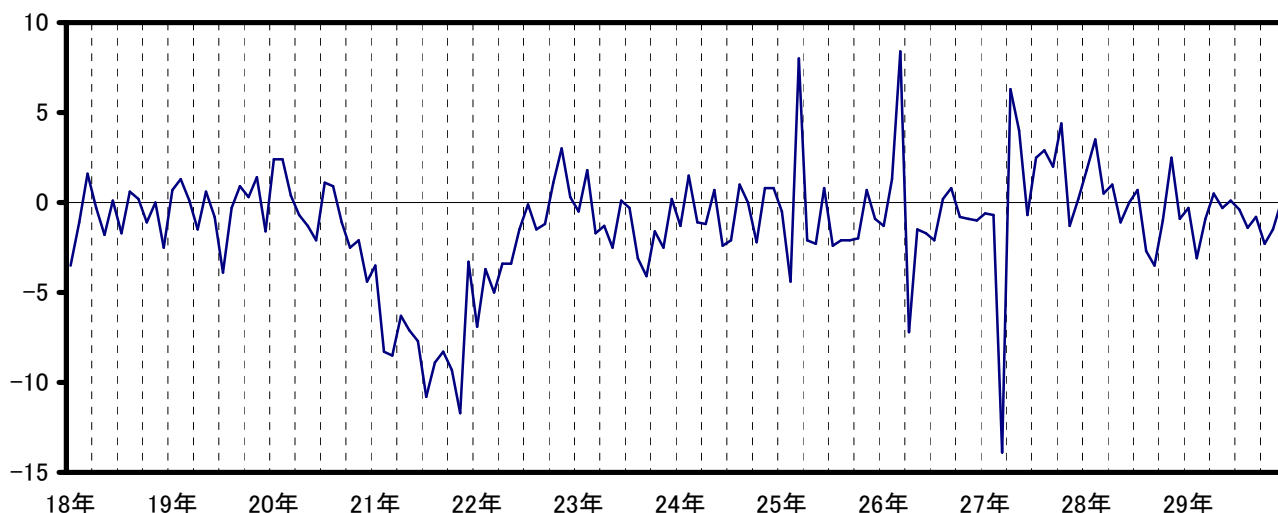
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

##### <過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

12月 = 9,035百万円

\*前年同月比： 0.8%増

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

12月の県内3百貨店の販売額は9,035百万円で、前年同月比0.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

品目別にみると、家庭用品(前年同月比6.1%減)が3か月連続、食料品(同0.3%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、衣料品(同0.1%増)、身の回り品(同0.3%増)がいずれも3か月ぶり、雑貨(同10.0%増)が13か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	6,015	6,010	6,928	5,020	5,350	5,918	6,578	9,035
前年同月比(%)	3.9	2.6	▲1.8	0.2	5.4	▲4.5	0.9	0.8
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	1.4	▲1.4	2.0	4.4	▲1.8	2.2	▲0.6

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

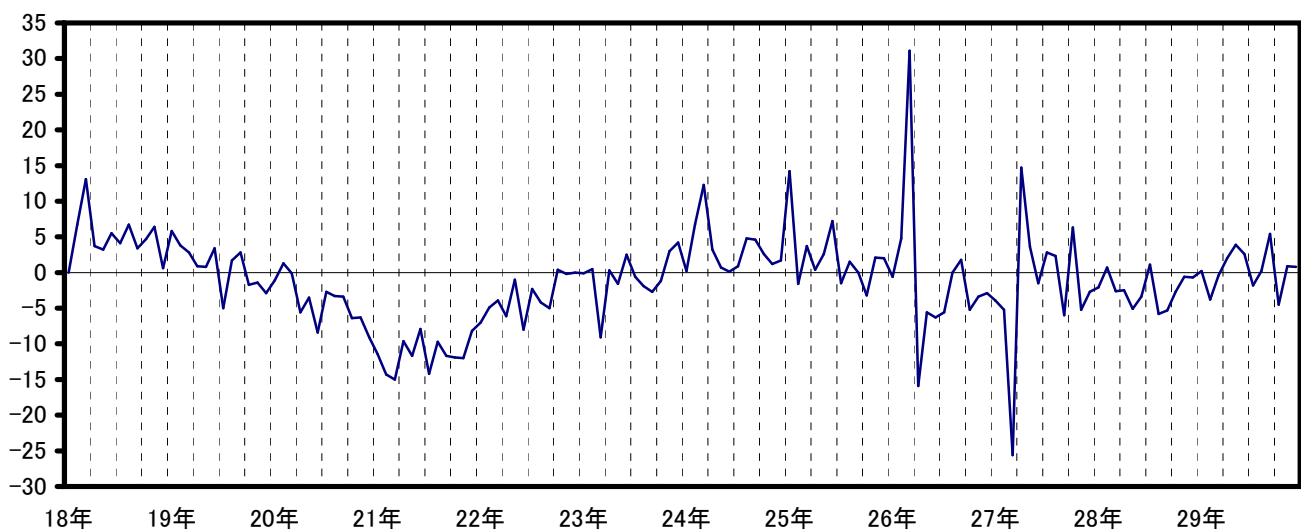
	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	0.4	▲1.6	▲4.5	▲3.5	4.3	▲6.6	▲3.2	0.1
うち紳士服・洋品	▲6.0	▲2.6	▲3.5	▲0.5	8.3	▲6.6	▲5.4	1.4
婦人服・洋品	1.8	▲0.9	▲5.7	▲2.2	5.0	▲6.8	▲1.0	0.6
子供服・洋品	▲0.6	11.1	▲4.3	▲4.4	3.5	▲5.7	▲7.8	▲1.3
身の回り品	4.1	1.2	0.5	▲0.5	8.7	▲3.8	▲4.4	0.3
家庭用品	▲2.7	▲2.8	▲7.4	▲5.2	4.8	▲12.0	▲13.7	▲6.1
食料品	6.1	0.6	▲1.8	▲2.3	2.7	▲4.4	2.9	▲0.3
雑貨	10.5	17.0	4.6	14.2	13.1	2.0	16.3	10.0
うち美術・宝飾・貴金属	24.4	23.3	9.1	23.0	15.7	▲8.7	▲6.2	5.5

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

12月 = 76,204百万円

\*前年同月比： 3.4%増

(県内94家電大型専門店、1,736コンビニエンスストア、466ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

12月の専門量販店等販売額は76,204百万円で、前年同月比 3.4%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 7.3%増）、コンビニエンスストア（同 0.5%増）、ホームセンター（同 1.2%増）がいずれも2か月連続、ドラッグストア（同 6.5%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	67,888	64,855	74,952	70,918	63,700	64,401	64,594	76,204
前年同月比(%)	3.7	2.1	3.6	2.7	3.5	0.1	2.9	3.4
うち 家電大型専門店(%)	2.5	▲ 3.4	6.4	4.6	0.7	▲ 2.4	5.2	7.3
コンビニエンスストア(%)	2.9	2.4	2.8	2.0	1.4	▲ 0.6	0.3	0.5
ドラッグストア(%)	6.5	5.6	5.2	4.8	8.5	5.7	6.6	6.5
ホームセンター(%)	1.7	▲ 1.6	0.1	▲ 1.0	2.7	▲ 7.5	0.9	1.2
(参考)全国前年同月比(%)	3.1	2.3	4.5	3.2	3.3	0.8	3.5	3.7

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

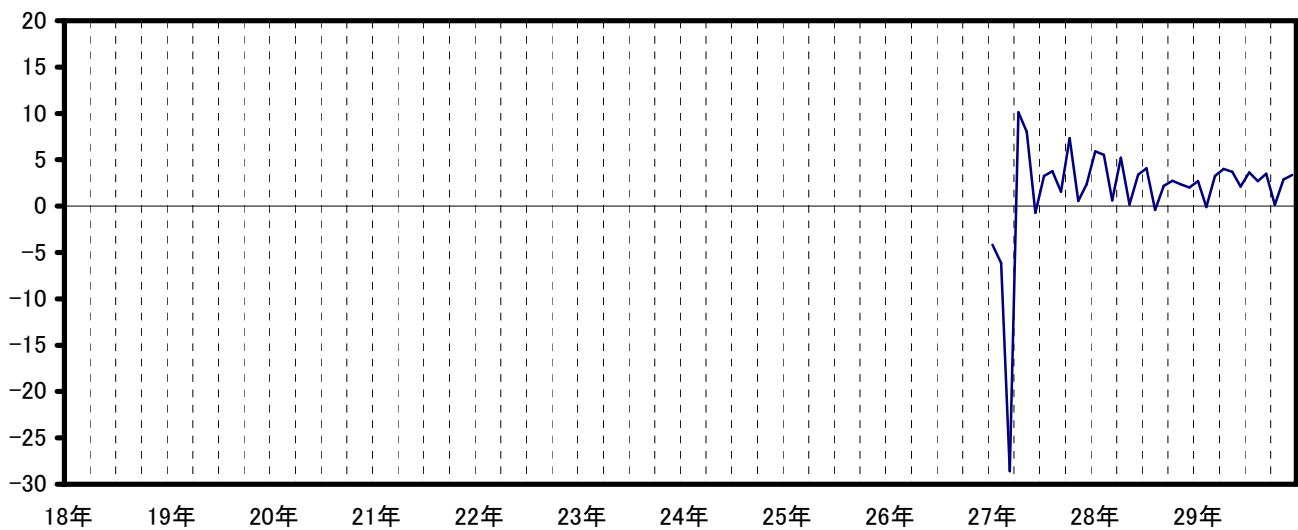
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省





**(4) 自動車(新車)新規登録台数****12月 = 13,048 台**

\*前年同月比： 3.7%減

(乗用車、軽自動車合計)

## &lt;概況&gt;

12月の自動車(新車)新規登録台数は13,048台(前年同月比 3.7%減)となり、3か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、軽自動車(前年同月比 0.4%増)が10か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車(同 6.5%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	12,394	16,106	14,281	11,788	17,157	12,382	13,434	13,048
前年同月比(%)	10.7	13.4	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7
(参考)全国前年同月比(%)	13.4	15.1	2.6	4.1	5.3	▲ 1.2	▲ 2.7	▲ 0.8

&lt;資料&gt;県税務課、日本自動車販売協会連合会

## &lt;車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移&gt;

(単位：%)

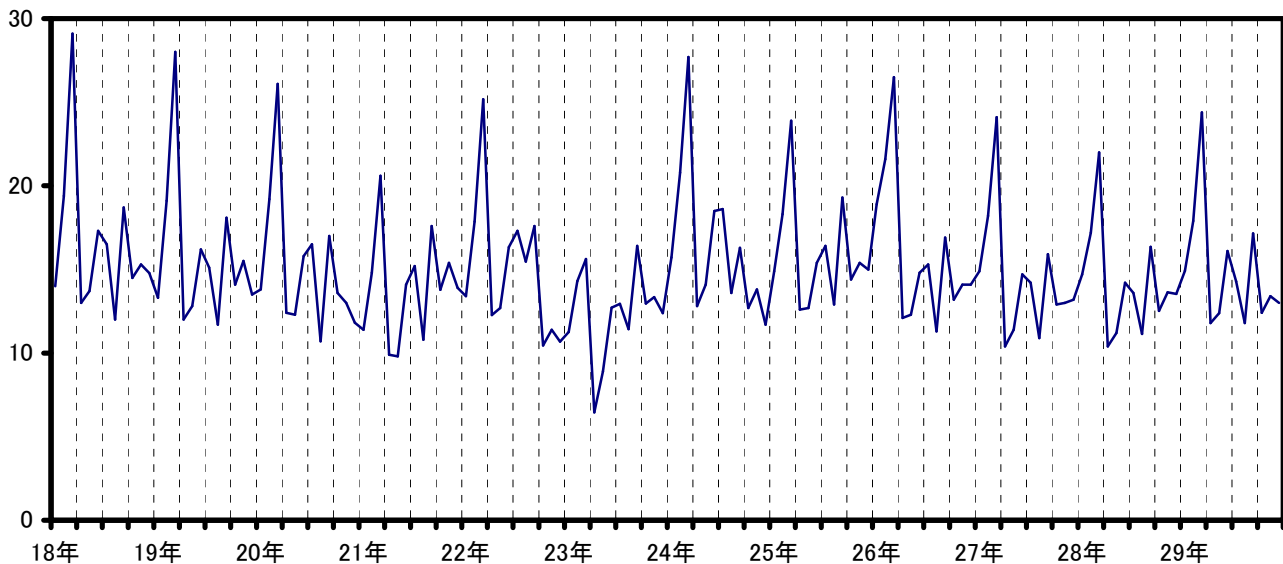
	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	10.7	13.4	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7
乗用車	7.1	14.7	1.7	8.6	5.1	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 6.5
軽自動車	15.8	11.5	9.2	2.2	4.9	7.5	2.4	0.4

&lt;資料&gt;県税務課

## &lt;過去10年間の推移&gt;

自動車(新車)新規登録台数(千台)

&lt;資料&gt;県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

12月 = 2,032 戸

\*前年同月比： 2.0%減

### <概況>

12月の新設住宅着工戸数は2,032戸で、前年同月比 2.0%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 0.9%減）が6か月連続、貸家（同 0.4%減）が2か月連続、分譲住宅（同 8.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

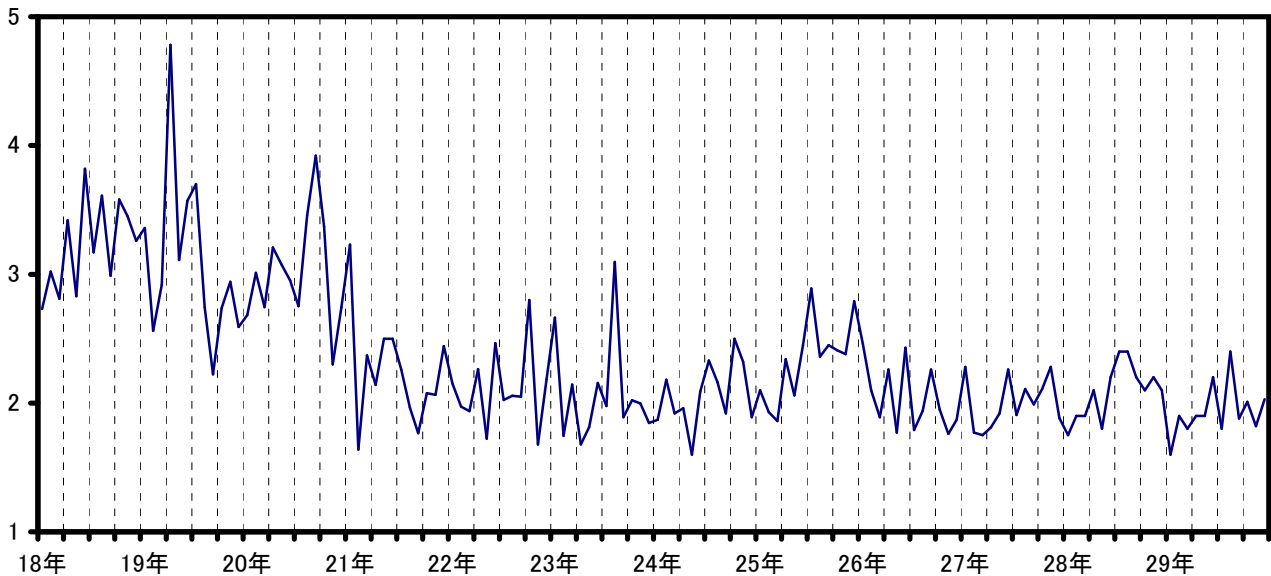
	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数 (戸)	1,937	2,208	1,838	2,387	1,878	2,012	1,820	2,032
前年同月比 (%)	6.6	0.6	▲ 22.0	▲ 0.7	▲ 13.8	▲ 3.5	▲ 17.8	▲ 2.0
うち持家 (%)	13.0	8.0	▲ 17.4	▲ 9.9	▲ 7.7	▲ 5.3	▲ 12.0	▲ 0.9
貸家 (%)	▲ 4.0	8.5	▲ 36.1	22.5	▲ 31.3	7.9	▲ 35.4	▲ 0.4
分譲住宅 (%)	13.3	▲ 17.9	▲ 9.3	▲ 17.5	0.0	▲ 15.9	11.2	▲ 8.8
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 0.3	1.7	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 4.8	▲ 0.4	▲ 2.1

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

12月 = 13,064百万円

\*前年同月比： 21.4%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

12月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は13,064百万円で、前年同月比 21.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は694件で、前年同月比 10.1%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額（百万円）	20,047	32,699	27,049	24,287	45,692	21,188	13,967	13,064
前年同月比（%）	4.9	43.8	▲ 3.4	▲ 17.7	▲ 9.3	9.8	▲ 1.7	▲ 21.4
年度累計前年同月比（%）	8.1	16.9	12.2	6.3	2.4	3.0	2.7	1.1
件数（件）	467	721	745	792	1,371	729	667	694
前年同月比（%）	18.8	14.3	▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 5.1	11.0	1.5	▲ 10.1
年度累計前年同月比（%）	10.4	12.1	4.7	0.5	▲ 1.3	0.2	0.4	▲ 0.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

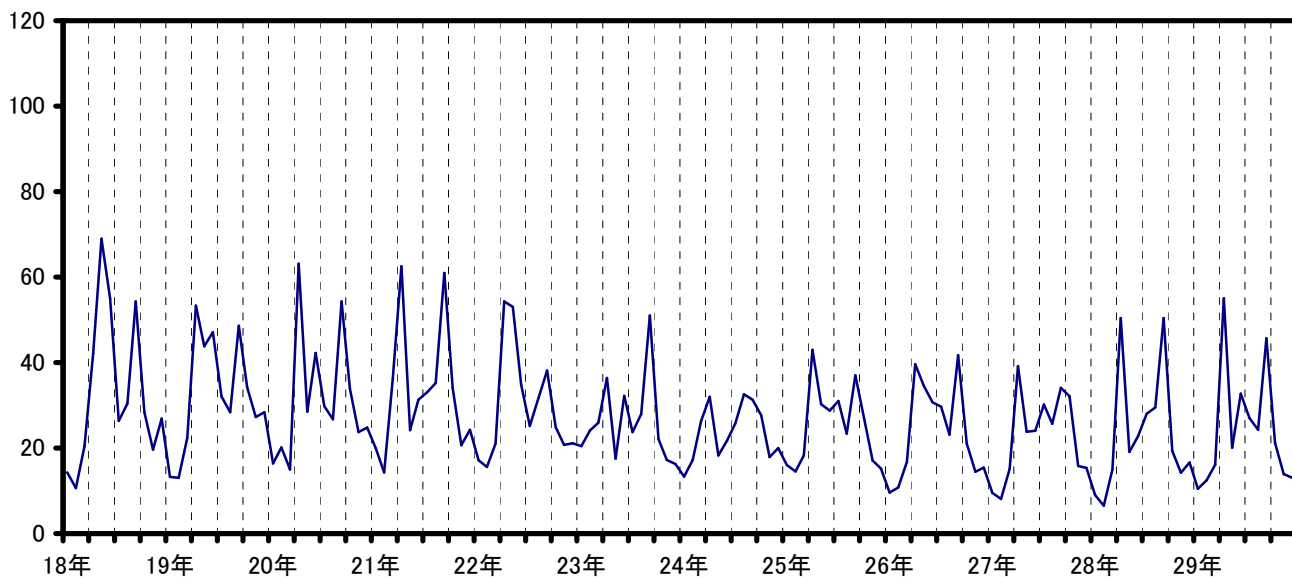
	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	53.6	135.1	▲ 3.0	▲ 40.7	3.6	107.7	108.8	▲ 99.1
独立行政法人等	▲ 71.2	98.0	▲ 92.5	5,289.9	▲ 49.2	▲ 33.9	▲ 59.0	113.4
県	105.1	▲ 7.3	▲ 17.2	▲ 18.2	3.3	▲ 35.0	▲ 24.9	▲ 6.3
市町	5.8	38.0	▲ 0.6	▲ 17.8	▲ 18.9	28.9	11.3	▲ 21.2
地方公社	▲ 96.0	—	707.1	39.3	586.3	▲ 90.9	21.0	▲ 80.9
その他	▲ 107.0	17.9	46.2	▲ 47.0	153.8	316.9	▲ 45.7	▲ 81.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業、全産業では減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも減少した。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 22.4%増）、非製造業（同 2.5%増）、全産業（同 13.3%増）のいずれも増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.3%増）、非製造業（同 3.0%増）、全産業（同 12.9%増）のいずれも増加の計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は109,021㎡で、前年同月比 1.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.5	(▲0.9) 13.3
	全国	0.4	(1.6) 6.3
製造業	県	0.1	(▲1.8) 22.4
	全国	2.6	(▲1.5) 10.1
非製造業	県	▲1.2	(0.5) 2.5
	全国	▲0.7	(3.5) 4.3

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.6	(▲1.5) 12.9
	全国	0.3	(0.8) 7.5
製造業	県	▲0.4	(▲1.9) 16.3
	全国	0.6	(▲0.7) 7.4
非製造業	県	▲1.3	(▲0.2) 3.0
	全国	0.0	(2.4) 7.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年12月調査)」

### <最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	145,007	176,342	117,369	131,182	82,379	117,588	96,613	109,021
前年同月比（%）	115.2	77.4	8.3	▲ 29.5	▲ 51.9	50.8	▲ 32.1	1.0
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 11.0	2.7	18.0	▲ 3.3	6.9	16.2	6.3	▲ 10.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	29年9月	29年12月	30年3月 (予測)
全産業	16	18	10
製造業	18	22	13
非製造業	14	15	8
(参考) 全国・全産業	15	16	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年12月調査)」

## 5 輸出

12月 = 199,123百万円

\*前年同月比： 5.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は199,123百万円で、前年同月比 5.4%増となり、14か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 2.3%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 18.2%減）が8か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 3.2%増）が2か月ぶり、自動車（同 16.4%増）が14か月連続、二輪自動車類（同 10.6%増）が12か月連続、科学光学機器（同 51.8%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 7.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 6.4%増）が14か月連続、EU向け（同 20.9%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	149,761	174,963	184,814	171,427	176,070	185,728	178,892	199,123
前年同月比(%)	7.4	12.1	15.0	18.2	7.2	17.9	9.5	5.4

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	6.8	2.1	▲0.4	5.8	9.5	7.2	▲2.6	3.2
エアコン	14.4	7.4	▲1.3	▲12.6	28.7	32.0	▲0.5	▲2.3
自動車	44.1	83.6	230.6	308.4	1.6	148.3	138.9	16.4
自動車の部分品	▲8.7	▲2.6	▲13.1	▲0.3	▲17.4	▲11.2	▲15.8	▲18.2
二輪自動車類	30.4	18.9	18.6	28.4	32.7	24.0	10.2	10.6
科学光学機器	▲4.8	0.4	22.5	53.8	45.3	38.2	30.7	51.8

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	14.7	8.1	15.4	23.0	7.4	18.9	7.3	6.4
米国	3.2	0.0	▲4.1	▲0.9	5.3	▲11.2	0.2	▲7.0
EU	2.9	48.6	42.9	41.8	8.7	54.9	23.4	20.9

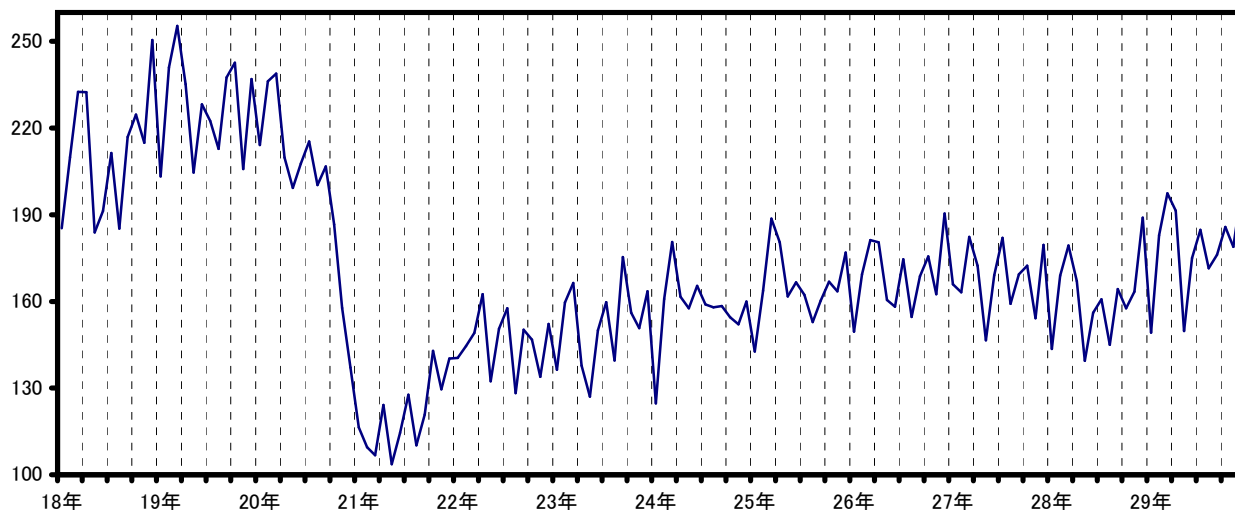
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

12月 = 89,168百万円

\*前年同月比： 15.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は89,168百万円で、前年同月比 15.5%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 3.3%減）が5か月ぶり、紙類及び同製品（同 24.2%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 26.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 20.6%増）、パルプ（同 46.4%増）がいずれも2か月連続、原動機（同 1.6%増）が8か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 2.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 11.7%増）が10か月連続、EUから（同 22.3%増）が11か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	80,301	83,549	82,170	85,388	83,653	73,320	89,557	89,168
前年同月比(%)	1.7	17.9	21.8	13.4	13.8	3.8	9.5	15.5

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類	▲ 31.2	69.1	26.4	52.1	5.1	▲ 9.2	12.2	20.6
木材	▲ 4.4	13.7	▲ 7.7	9.8	34.2	30.1	64.8	▲ 3.3
パルプ	55.2	5.5	39.0	37.6	50.8	▲ 4.9	75.7	46.4
紙類及び同製品	▲ 17.2	▲ 36.5	16.6	13.2	▲ 9.8	4.3	33.1	▲ 24.2
原動機	▲ 50.4	▲ 37.6	▲ 29.6	▲ 68.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 29.1	1.6
自動車の部分品	33.2	12.1	24.1	21.3	▲ 0.4	15.8	▲ 4.6	▲ 26.9

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

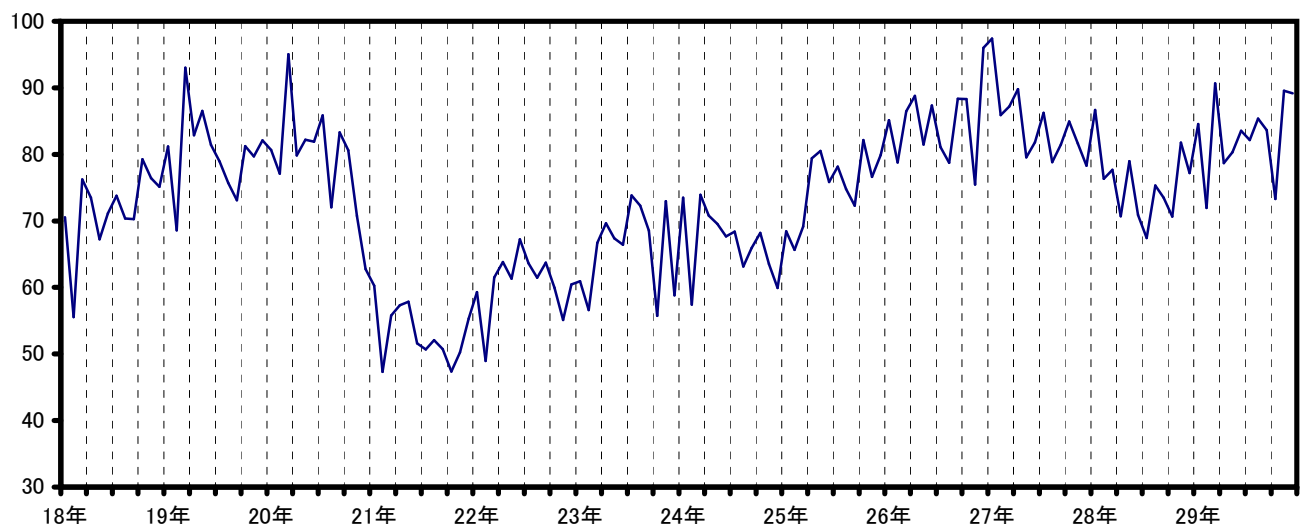
	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	10.6	23.8	15.5	1.6	22.2	1.2	12.0	11.7
米国	▲ 10.5	▲ 9.7	35.8	▲ 4.9	21.4	▲ 1.0	9.1	▲ 2.6
EU	18.7	31.1	17.7	30.7	21.5	24.5	5.9	22.3

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

11月 = 92.6

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 3.8%減

\*前年同月比(原指数) : 2.8%増

#### <概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は92.6(季節調整済指数)で、前月比3.8%減となり、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は2.8%増と11か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.6%減)が2か月ぶり、電気機械(同3.9%減)が7か月ぶり、食料品・たばこ(同8.4%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械(同10.6%増)が12か月連続、化学(同6.4%増)が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.5%増)が6か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	94.8	91.4	92.2	91.3	94.1	93.2	96.3	92.6
前月比(%)	▲1.7	▲3.6	0.9	▲1.0	3.1	▲1.0	3.3	▲3.8
前年同月比(%)	1.0	4.8	3.7	3.0	4.0	2.3	9.6	2.8
(参考)全国前年同月比(%)	5.7	6.8	4.9	4.7	5.4	2.5	5.9	3.7

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲13.8	4.6	▲7.8	▲3.7	▲6.8	▲4.7	19.5	▲1.6
電気機械工業	▲2.1	6.8	3.7	4.1	9.3	3.9	5.5	▲3.9
輸送機械工業	12.3	7.7	14.8	3.7	10.0	11.4	20.2	10.6
化学工業	2.8	11.9	4.3	7.0	2.3	1.3	10.0	6.4
パルプ・紙・紙加工品工業	1.9	3.4	▲0.2	▲2.7	▲0.4	▲1.9	▲1.5	1.5
食料品・たばこ工業	▲9.3	▲5.2	▲3.2	0.8	0.9	▲6.3	▲3.4	▲8.4

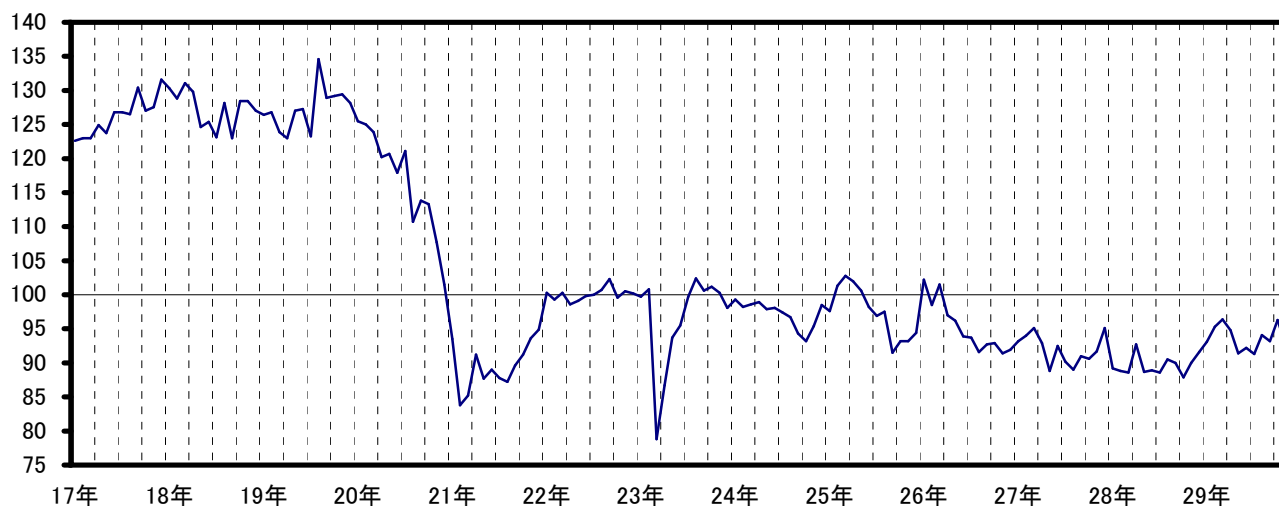
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

11月 = 114.5

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.8%減

\*前年同月比(原指数) : 4.9%増

### <概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は114.5(季節調整済指数)で、前月比は1.8%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は4.9%増と2か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 8.9%減)が7か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 6.9%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同 4.0%減)が8か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械(同 19.7%増)が4か月連続、輸送機械(同 20.3%増)が2か月連続、化学(同 25.4%増)が6か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	116.7	114.2	118.2	113.4	113.3	111.2	116.6	114.5
前月比(%)	▲1.3	▲2.1	3.5	▲4.1	▲0.1	▲1.9	4.9	▲1.8
前年同月比(%)	▲0.8	▲0.6	3.6	▲0.5	▲1.0	▲0.8	5.3	4.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.1	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲3.0	▲2.4	1.9	2.8

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲1.2	3.0	7.2	1.6	0.2	4.7	3.9	▲8.9
電気機械工業	▲2.3	▲2.5	▲7.0	▲0.7	0.5	6.3	16.7	19.7
輸送機械工業	9.0	7.8	14.9	▲22.7	▲26.1	▲14.9	6.0	20.3
化学工業	▲4.6	▲5.4	1.5	5.9	12.4	7.3	23.9	25.4
パルプ・紙・紙加工品工業	3.0	1.0	0.6	▲2.5	▲6.0	▲6.4	▲9.7	▲6.9
食料品・たばこ工業	5.1	8.1	15.6	1.7	7.7	4.6	12.9	▲4.0

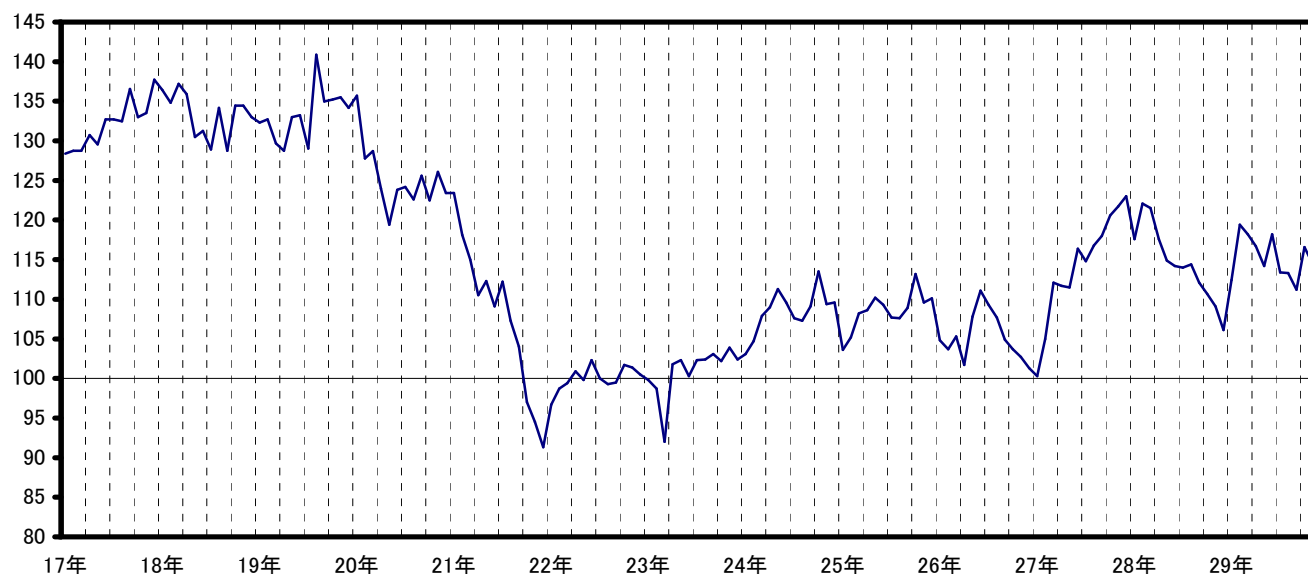
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**12月 = 1.60倍**

\*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

12月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.60倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、10か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 14.0%増）は23か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比 0.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同 7.8%増）が23か月連続、製造業（同 22.1%増）が26か月連続、情報通信業（同 16.7%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同 13.6%増）がいずれも2か月ぶり、運輸業・郵便業（同 17.6%増）が14か月連続、医療・福祉（同 15.1%増）が16か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.54	1.57	1.57	1.55	1.56	1.58	1.59	1.60
全 国	1.49	1.51	1.52	1.52	1.52	1.55	1.56	1.59

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建 設 業	15.2	11.7	7.3	15.3	5.9	13.3	10.5	7.8
製 造 業	21.8	33.2	13.2	11.0	7.2	13.3	14.9	22.1
情 報 通 信 業	16.4	▲ 15.8	8.1	▲ 12.2	9.2	16.2	▲ 17.6	16.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	13.8	8.0	2.7	19.6	20.9	9.6	7.0	17.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 6.2	▲ 9.2	10.0	▲ 5.7	7.6	1.4	▲ 1.9	▲ 0.3
医 療 ・ 福 祉	16.1	14.7	0.3	15.4	22.5	2.4	11.3	15.1
サービス業（他に分類されないもの）	24.5	21.6	11.5	6.8	29.2	20.6	▲ 5.8	13.6
合 計	12.3	13.4	8.1	9.1	15.7	9.7	5.9	14.0

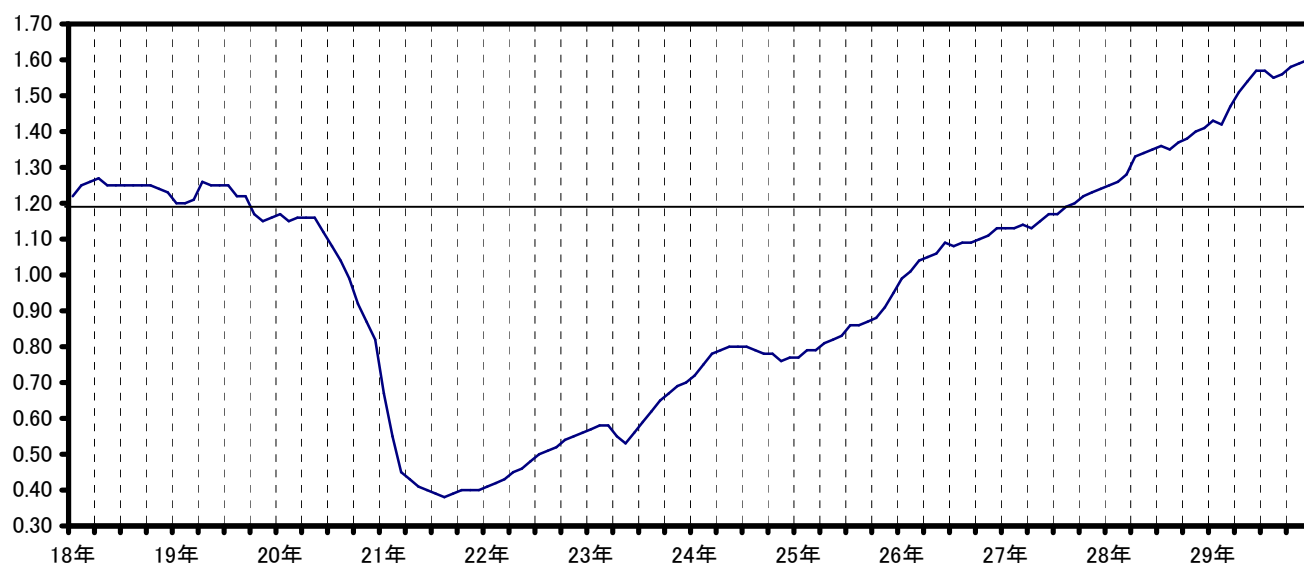
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 10,275人

\*前月比: 5.3%減

\*前年同月比: 5.9%減

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は10,275人で、前月比は5.3%減と4か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は5.9%減と53か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は2.8%で、前月から0.1ポイント悪化した。  
 静岡県(平成29年7~9月)の完全失業率は2.4%で、前期(29年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	10,897	11,025	11,093	11,844	11,236	11,111	10,848	10,275
前月比(%)	14.3	1.2	0.6	6.8	▲5.1	▲1.1	▲2.4	▲5.3
前年同月比(%)	▲8.8	▲11.9	▲11.8	▲11.0	▲11.5	▲8.7	▲6.4	▲5.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.7	▲7.8	▲6.5	▲6.8	▲6.9	▲2.6	▲3.3	▲4.7

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	3.1	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.8

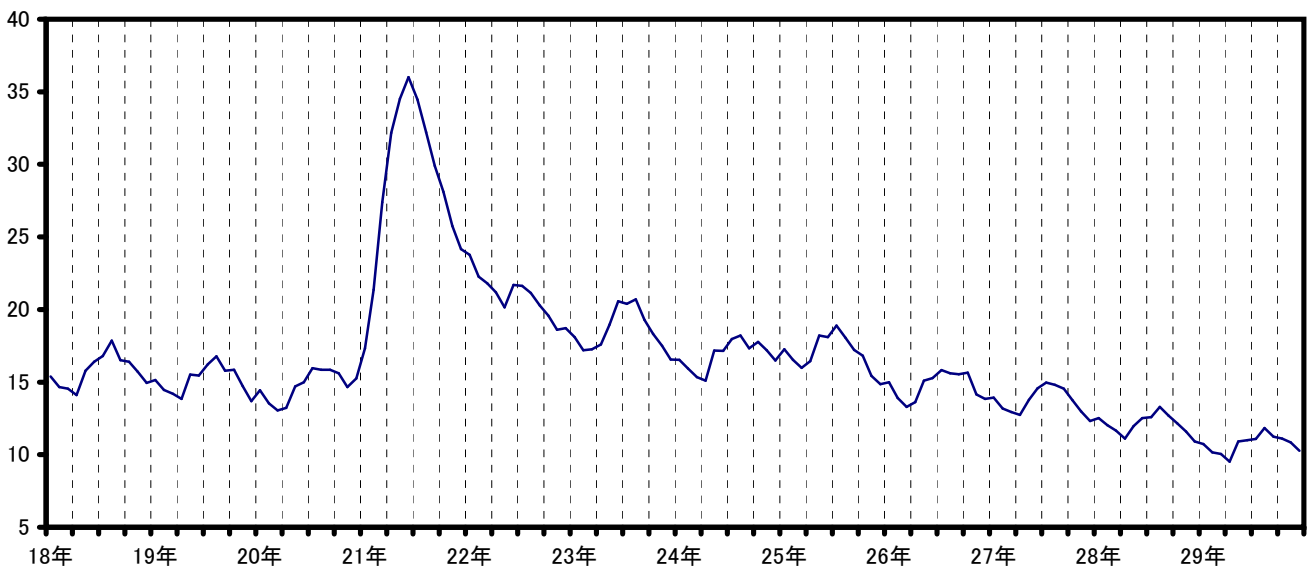
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

11月 = 106.8

\*前月比(季節調整済指数): 1.7%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 6.1%増

#### <概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は106.8(季節調整済指数)で、前月比1.7%増となった。また、前年同月比(原指数)は6.1%増と4か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比10.8%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同13.2%減)が9か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同9.5%増)が4か月連続、情報通信業(同2.3%増)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同14.8%増)が6か月連続、医療・福祉(同9.2%増)が3か月ぶり、その他のサービス業(同26.0%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	103.6	104.7	105.5	103.2	100.2	106.4	105.0	106.8
前月比(%)	1.6	1.1	0.8	▲2.2	▲2.9	6.2	▲1.3	1.7
前年同月比(%)	0.0	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	0.6	▲1.8	▲0.9	0.8	▲0.1	▲0.2	▲0.1

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	▲22.3	19.5	5.2	▲13.4	▲1.5	13.9	▲26.9	▲10.8
製造業	5.0	8.4	7.6	▲0.3	0.8	6.2	1.3	9.5
情報通信業	▲4.2	▲1.2	▲4.6	3.4	▲4.7	19.8	▲3.2	2.3
運輸業・郵便業	▲2.8	▲1.7	▲3.8	▲1.1	▲3.7	▲0.6	▲5.1	▲13.2
卸売業・小売業	▲14.1	▲13.5	2.6	24.8	9.8	24.0	46.9	14.8
医療・福祉	▲10.1	▲3.0	▲14.0	▲2.8	6.1	▲1.7	▲12.9	9.2
その他のサービス業	▲26.9	▲22.5	▲5.3	12.6	14.4	13.1	38.8	26.0
調査産業計	0.0	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1

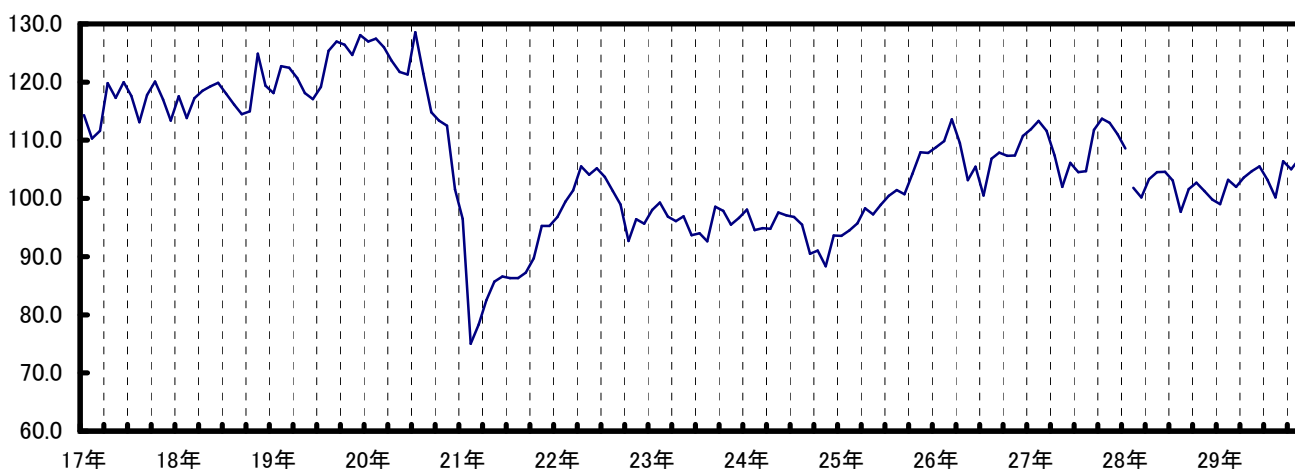
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

1 月 = 100.3

(平成27年=100)

\*前 月 比: 0.3%上昇

\*前年同月比: 2.7%上昇

#### <概 況>

1月の国内企業物価指数は100.3となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は2.7%の上昇となった。

#### <最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
国内企業物価指数	98.5	98.8	98.8	99.1	99.4	99.9	100.1	100.3
前 月 比 (%)	0.1	0.3	0.0	0.3	0.3	0.5	0.2	0.3
前年同月比 (%)	2.2	2.6	2.9	3.1	3.4	3.6	3.1	2.7

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

12月 = 141,576億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 1.4%増

\*前年同月比: 1.8%増

#### <概 況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は141,576億円で、前月比は1.4%の増加となり、前年同月比は1.8%の増加となった。

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	138,440	139,225	139,248	139,196	141,064	139,254	139,604	141,576
前 月 比 (%)	0.0	0.6	0.0	0.0	1.3	▲ 1.3	0.3	1.4
前年同月比 (%)	2.1	2.3	2.4	2.4	2.4	2.0	1.7	1.8

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

12月 = 2.098%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.019ポイント減

\*前年同月差: 0.026ポイント減

#### <概 況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.098%で、前月から0.019ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.026ポイントのマイナスとなった。

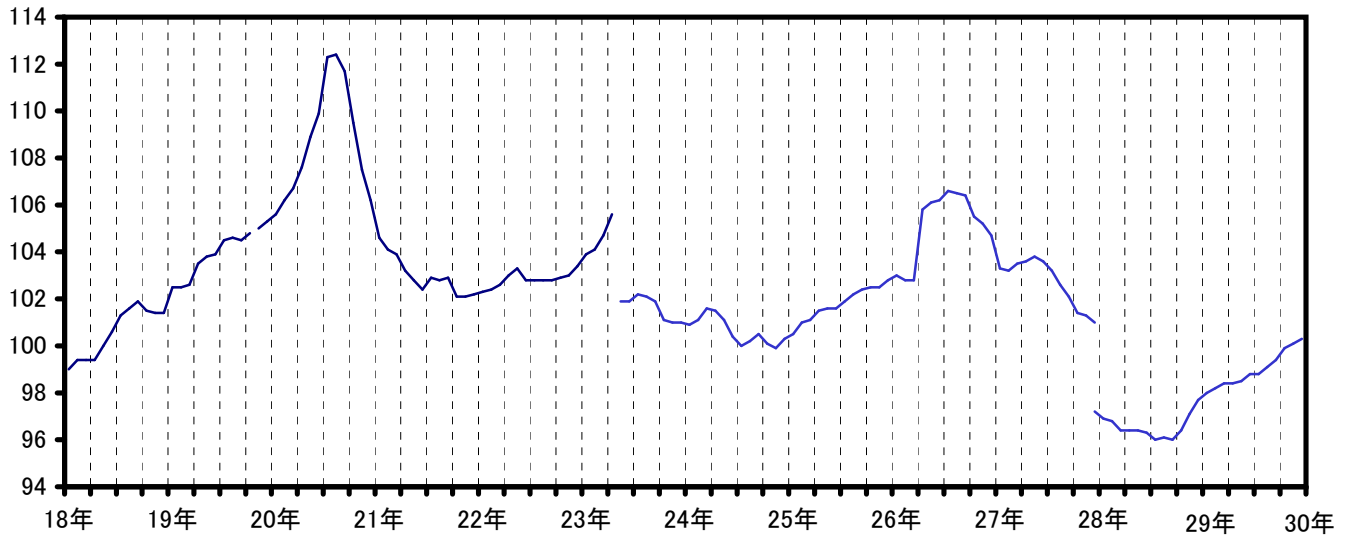
	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出約定金利 (%)	2.131	2.123	2.120	2.122	2.111	2.123	2.117	2.098
前月差(ポイント)	▲ 0.002	▲ 0.008	▲ 0.003	0.002	▲ 0.011	0.012	▲ 0.006	▲ 0.019
前年同月差(ポイント)	▲ 0.021	▲ 0.030	▲ 0.035	▲ 0.032	▲ 0.033	▲ 0.029	▲ 0.029	▲ 0.026

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

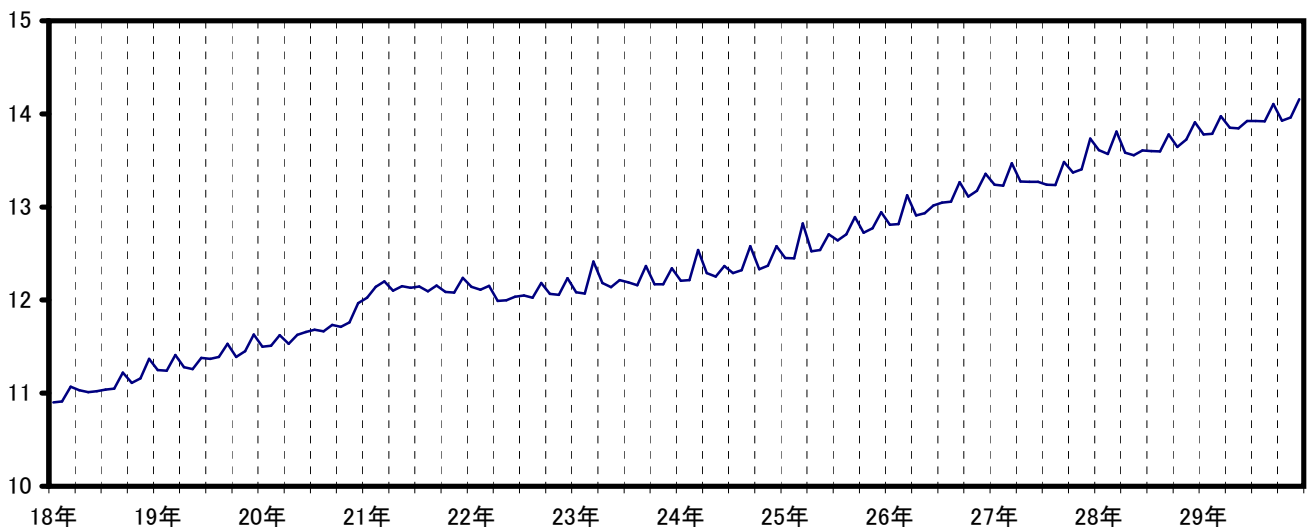
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



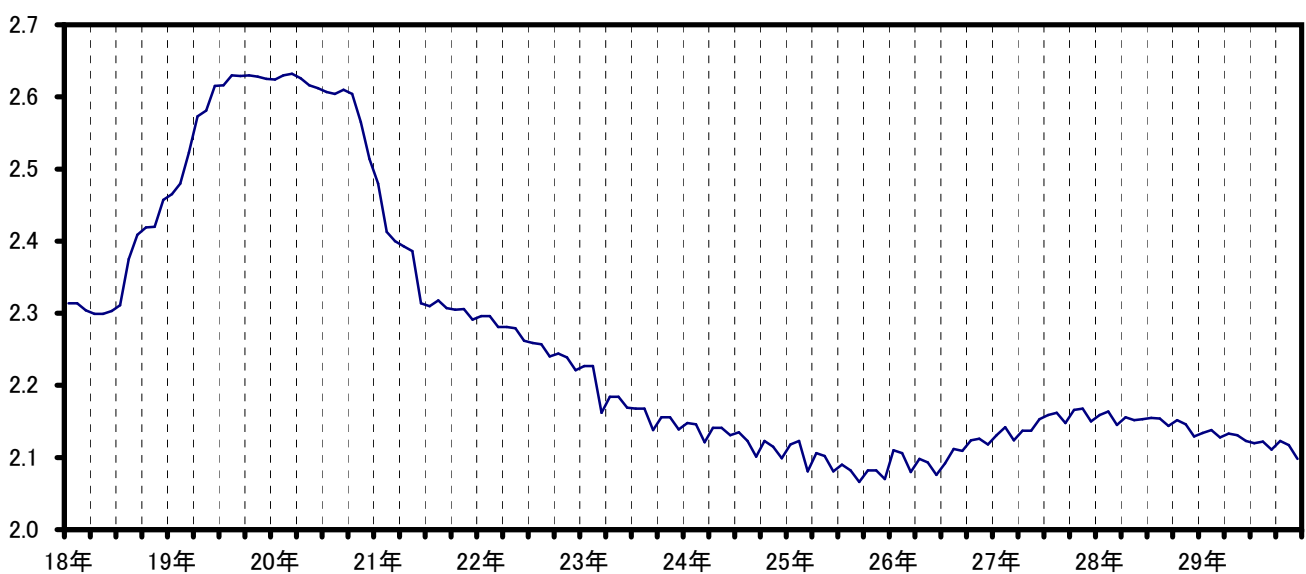
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****12月 = 23,366百万円**

\*前年同月比： 4.0%減

## &lt;概況&gt;

12月の保証承諾は、金額が23,366百万円（前年同月比 4.0%減）と2か月ぶりに前年実績を下回り、件数は2,317件（同 1.9%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	14,148	19,274	17,411	18,145	19,319	15,886	20,201	23,366
前年同月比（%）	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 15.9	▲ 19.6	▲ 17.1	▲ 6.8	4.7	▲ 4.0
保証件数（件）	1,608	1,985	1,738	1,933	2,009	1,635	1,930	2,317
前年同月比（%）	▲ 12.4	▲ 14.6	▲ 13.5	▲ 11.0	▲ 13.4	▲ 8.2	2.2	▲ 1.9

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****1月 = 110.77円/ドル**

\*前月差： 2.20円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 3.96円高

## &lt;概況&gt;

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は110.77円で、前月と比べて2.20円の円高となり、2か月ぶりの円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
平均相場（円）	110.91	112.44	109.91	110.68	112.96	112.92	112.97	110.77
前月差（円）	▲ 1.30	1.53	▲ 2.53	0.77	2.28	▲ 0.04	0.05	▲ 2.20
前年同月差（円）	5.42	8.54	8.64	8.64	9.14	4.74	▲ 2.98	▲ 3.96

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****1月 = 18件**

\*前年同月比： 12.5%増

## &lt;概況&gt;

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は18件（前年同月比 12.5%増）、負債総額は2,369百万円（同 40.4%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の94.4%を占め、242か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

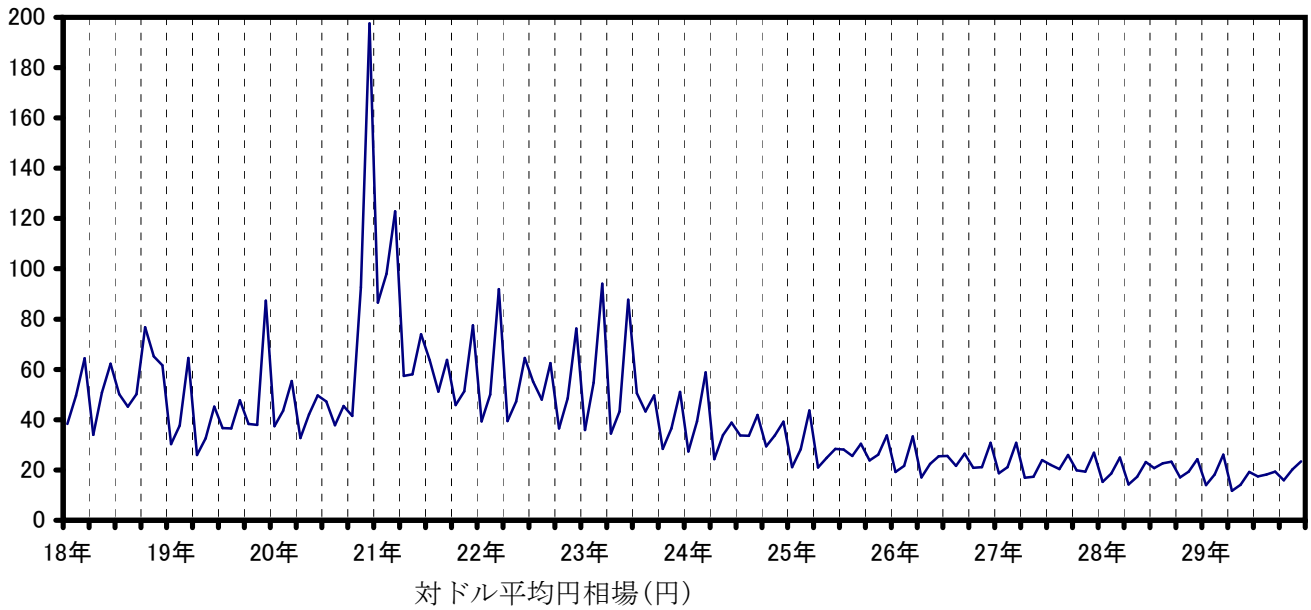
	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
倒産件数（件）	23	27	21	23	23	21	15	18
前年同月比（%）	▲ 25.8	▲ 25.0	10.5	4.5	76.9	10.5	▲ 57.1	12.5
うち不況型倒産件数（件）	20	24	20	22	20	21	13	17
負債総額（百万円）	2,940	3,157	1,679	1,558	3,542	8,404	1,255	2,369
前年同月比（%）	▲ 42.2	▲ 62.8	▲ 18.6	▲ 32.6	117.1	310.1	▲ 77.9	40.4

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

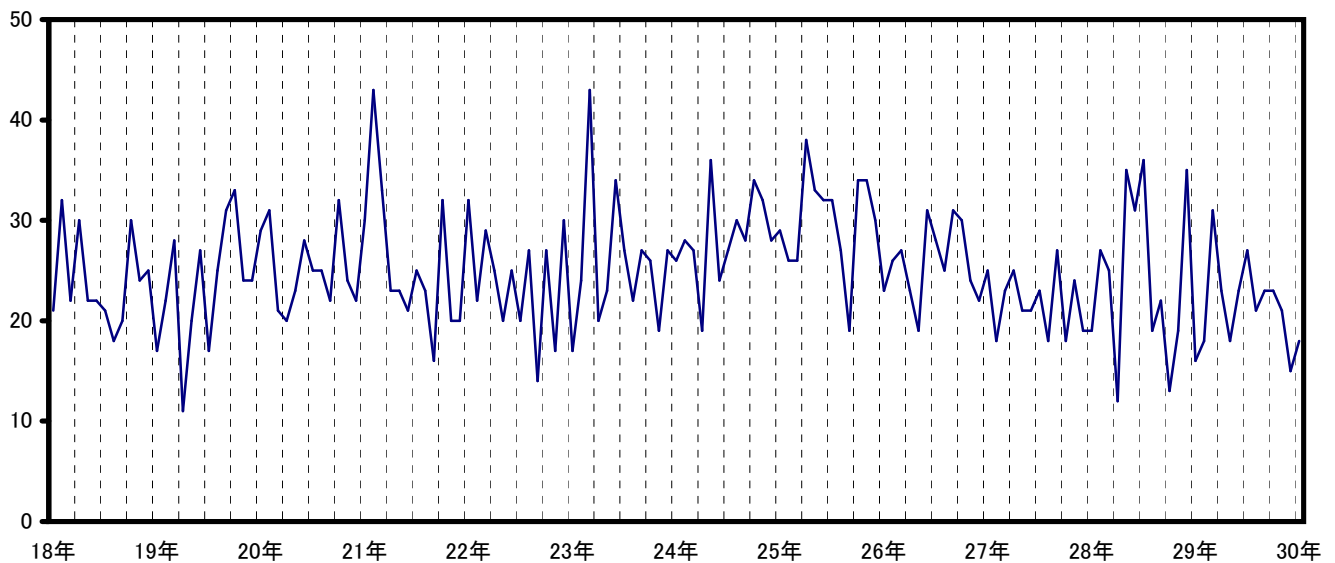
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成29年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>12月の国内二輪車生産台数は、56,672台（前年同月比 4.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,336台（同 2.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、1,499台（同 6.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,222台（同 29.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、40,615台（同 1.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、22,207台（同 9.5%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、45,571台（同 4.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>12月の自動車国内生産台数は、791,315台（前年同月比 1.3%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は433,390台（同 2.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月ぶり、トラックが3か月連続、全体では14か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は318億円（前年同月比 10.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は291千台（同 11.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは565千台（同 1.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は62千台（同 4.2%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>11月の携帯電話の国内出荷台数は、1,820千台（同 4.0%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,467千台（同 23.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は80.6%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,659億200万円（前年同月比 48.3%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,025億2,500万円（同 55.6%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが529億2,700万円（同 96.6%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。内需は633億7,700万円（同 37.8%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「リチウムイオン電池の部材が好調である」という声や「生産性を上げるための設備投資が必要」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>



業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、49億7,400万円（前年同月比 1.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが23億5,600万円（同 4.7%減）、国内向けが26億1,900万円（同 1.9%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,856台（同 1.4%増）であった。機種別では、アップライトピアノが1,880台（同 4.0%減）、グランドピアノが976台（同 13.8%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,881台（同 18.3%増）、国内向けが1,284台（同 13.4%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、2,124千トﾝ（前年同月比 1.3%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,138千トﾝ（同 4.1%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。板紙は986千トﾝ（同 2.0%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、618千トﾝ（同 5.5%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、162千トﾝ（同 1.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け894千箱（前年同月比 9.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は619千箱（同 7.7%増）と、14か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は452千箱（同 12.6%増）と、10か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は275千箱（同 14.3%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,513千箱（同 7.9%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、1,589千㎡（前年同月比 6.2%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,539千㎡（同 6.7%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、50千㎡（同 11.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、33千㎡（同 1.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、61億481万円（前年同月比 8.7%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、699億187万円（同 3.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店の売上高は、雨天日の減少や11月に静岡市内の大型商業施設が開業し、同市駅前の集客効果が高まったことなどから、対前年比で0.8%増加した。商品別では、衣料品、身の回り品が堅調に推移し、化粧品、美術・宝飾・貴金属が好調であった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、売上・来客数ともに減少していた。また、伊豆の食品スーパーへの聞き取りでは、鮮魚の品不足・相場高が続いていた。</p> <p>12月の中部地区の商店街等では、市民による季節に対応した仮装姿でのパレードが実施され、大勢の人でにぎわった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約25万人と、前年同月比10.2%減だった。主な要因は、日本平ロープウェイの設備更新に伴う運休によるものである。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約73万台と、前年同月比2.2%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	21,687	19,492	17,298	14,990	16,110	14,890	16,922	16,792	13,704
前年同月比(%)	3.7	16.0	4.9	▲ 10.9	20.0	7.8	▲ 15.8	▲ 30.8	▲ 30.9
KD輸出額(百万円)	680	635	714	772	575	496	603	606	531
前年同月比(%)	5.3	18.7	▲ 6.1	14.0	▲ 24.6	▲ 26.2	4.4	▲ 15.7	▲ 25.8

### <楽 器>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,403	3,554	3,731	3,355	2,933	3,078	3,305	3,334	3,298
前年同月比(%)	▲ 11.3	5.3	▲ 10.2	▲ 12.1	▲ 11.4	▲ 20.1	▲ 10.6	▲ 8.3	0.1

### <缶詰>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	965	888	999	966	976	965	967	992	894
前年同月比(%)	▲ 4.5	▲ 12.2	▲ 9.3	▲ 5.4	▲ 0.1	▲ 9.3	▲ 5.0	2.3	9.6
うち水産缶詰(%)	▲ 5.0	▲ 8.4	▲ 11.4	▲ 11.5	▲ 13.0	▲ 14.3	▲ 8.6	▲ 0.8	7.7
農畜産缶詰(%)	▲ 3.4	▲ 21.7	▲ 3.9	11.6	42.4	6.2	5.2	10.9	14.3
飲料缶生産高(千ケース)	8,148	8,392	7,969	8,384	7,648	6,297	5,945	6,345	5,513
前年同月比(%)	2.8	0.4	3.3	▲ 1.1	3.0	▲ 11.9	▲ 9.4	▲ 4.5	▲ 7.9

### <織 維>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	1,338	1,170	1,137	1,120	1,110	1,411	1,493	1,679	1,589
前年同月比(%)	▲ 11.4	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 6.2
小幅織物(千㎡)	33	32	29	27	25	31	32	32	33
前年同月比(%)	▲ 9.7	▲ 2.8	▲ 3.3	▲ 0.7	▲ 6.0	3.5	2.5	▲ 0.6	▲ 1.1

### <観 光>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観光施設(10施設)入込 (千人)	507	638	366	334	563	391	331	374	251
前年同月比(%)	▲ 0.6	2.7	10.8	▲ 7.9	2.0	6.2	▲ 23.3	7.2	▲ 10.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	699	759	670	774	883	704	670	735	725
前年同月比(%)	2.2	3.6	3.1	2.5	2.4	3.9	▲ 5.7	4.8	▲ 2.2

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
平成30年2月号 通巻502号

発行 静岡県経済産業部  
平成30年2月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>